

平成 27 年度 農と環境を活かしたまちづくり

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会

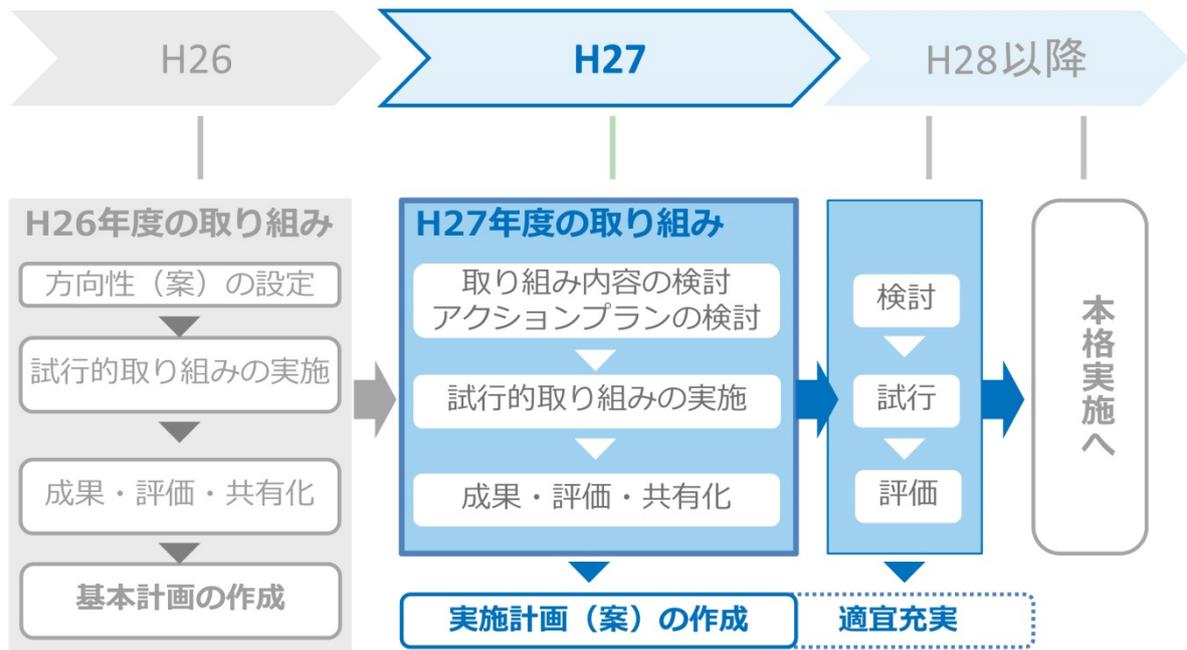
第 3 回 農産物等研究専門部会

説 明 資 料

1. 平成 27 年度の取り組みの位置づけ p 1
 2. 平成 27 年度の取り組みの基本的考え方 p 1
 3. 実施にあたっての留意事項 p 2
 4. 平成 27 年度の実施スケジュール p 2
 5. 平成 27 年度の取り組み一覧（全体） p 3
 6. 平成 27 年度の取り組み事項（専門部会） p 7
- 〈参考 1〉秋の集中的な取り組みについて p 16
- 〈参考 2〉地域活性化検討専門部会の取り組み p 35
- 〈参考 3〉里地里山保全利活用専門部会の取り組み p 39

平成 28 年 2 月 15 日（月）

1. 平成 27 年度の取り組みの位置づけ



2. 平成 27 年度の取り組みの基本的考え方

農と環境を活かしたまちづくりを進めていくため、今年度は関係する様々な皆さんと課題や方向性を共有した上で、試行的取り組みを推進します。

● 農家の方や地元の方等へのご理解と、多様な担い手への協力体制の強化

多様な担い手への取り組みを進める為、農家の方、地元住民、周辺企業、大学、緑等関わる市民団体等に、「黒川地区 農と環境を活かしたまちづくり」について、ご理解とご協力のため、説明や意見交換を進めていきます。

● 多様な担い手の連携による試行的取り組みの推進

黒川地区にとって、どのようなことを進めていくのがよいか、ちょっとできそうなもの、やってみたいことなどを、まずはできる範囲で試してみながら、具体的な取り組み内容を決めていきます。

課題解決の糸口を見つけながら様々な取り組みを**試行**

● 試行による取り組みをくり返しながら

「農と環境を活かしたまちづくり」の実施計画につなげていく

3. 実施にあたっての留意事項



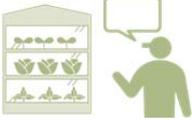
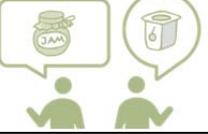
試行的取り組みの実施と検証を繰り返しながら、
 地域が一体となって、地域に根付く文化を育ていける
 黒川地区 農と環境を生かしたまちづくり 実施計画の策定へ

4. 平成 27 年度の実施スケジュール

		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
協議会					1				2			3/24
専門部会	農産物等研究 専門部会			1		2					3	2/15
	地域活性化 検討専門部会			1		2					3	2/5
	里地里山保全 利活用専門部会			1		2					3	2/8
地元意見交換会		1			2					3	1/29	

※収穫祭：H27.11/7（土）

5. 平成 27 年度の取り組み一覧

専門部会 (実施方針)		No.	実施項目	イメージ
農産物等研究 専門部会	新規農産物や 郷土農産物栽培 の推進	農 1	明治大学黒川農場の見学会	
		農 2	大学と農家の意見交換会 (地域連携による農産物づくりの検討等)	
	地元農産物の 販売促進	農 3	農産加工品に関する女性農業者との 意見交換	
		農 4	黒川農場アグリサイエンスアカデミ ー（市民講座）への地元農業者の講 師派遣	
		農 5	黒川野菜・果物等の P R (農家による黒川野菜の直売の実施)	
地域活性化検討 専門部会	農と里山の 認知促進	地 1	サインの検討・試行	
		地 2	散策マップの検討・試行	
		地 3	里山景観づくりの検討・試行	
		—	環境整備の検討 (散策路や遊べる水辺づくり)	
	地 4	H P 等による取り組み紹介とイベン ト P R		
農と里山の体感	地 5	グリーンツーリズム		

概要	実施箇所	実施体制	実施時期	備考
地元農業者を対象に、黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う	明治大学 黒川農場	主催：明治大学 対象：地元農業者等 事務局：川崎市農地課	H28年 2月下旬～ 3月予定	
大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる	明治大学 黒川農場	対象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課	H28年 2月下旬～ 3月予定	
地元の女性農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う	未定	主催：川崎市農地課 対象：女性農業者 協力：神奈川県農業技術センター 横浜川崎地区事務所、セレスモス	H28年 2月～3月 予定	
黒川農場アグリサイエンスアカデミーの農産加工品の講座に、「ふるさとの生活技術指導士」の黒川地区の方に講師を依頼し、地域連携を図る	明治大学 黒川農場	主催：明治大学 講師：ふるさとの生活技術指導士（黒川地区） 対象：市民講座申込者	H27年 12月19日	
明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う	明治大学 黒川農場	主催：地元農業者、川崎市農地課 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者	H27年 11月7日 (収穫祭)	
散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行の取り組み 今年度は里山アートと連携して、散策誘導を試行的に実施	黒川地区 (黒川駅～明治大学黒川農場間)	主催：和光大学 制作：和光大学教員と学生 協力：地元農業者、小田急電鉄 事務局：麻生区役所	H27年 10月～ 11月	
地区内の散策マップや散策ルート等のあり方を検討。今年度は里山アート制作と連携して、散策誘導の試行と里山アート紹介を兼ねた暫定散策マップを配布。	—	主催：和光大学 制作：和光大学教員と学生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄、セレスモス 事務局：麻生区役所	H27年 10月～ 11月	
黒川地区の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の取り組み 今年度は黒川海道緑地にて試行的にのらぼう菜の種まきを実施	黒川海道特別 緑地保全地区	主催：地元農業者（黒川はるひ野管理組合、黒川緑地管理協議会など）、川崎市みどりの協働推進課	H28年 3月～4月	
回遊性のある散策路のルートを整備する「散策路の整備」、明治大学の自然散策路との連携、里山景観の向上も兼ねた「子どもも遊べる水辺づくり」などの検討 今年度は、散策路の確保に向けた検討	・黒川地区の散策路 ・明大農場前の水路	地域活性化検討専門部会で検討	—	
農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実 今年度は、ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施	—	担当：麻生区役所	通年	
農体験、自然体験、加工体験、食体験、散策等を通じて地元の方々と交流促進	黒川地区			
【トマト&ブルーベリー収穫体験の実施】 市民の方に農産物の収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを女性モニターを対象に実施	明治大学 黒川農場、 市の農地	主催：麻生区役所 協力：明治大学 対象：20～40才代の市内在住の女性	H27年 8月1日	

概要	実施箇所	実施体制	実施時期	備考
<p>【さつまいも収穫体験とスイーツづくり】 市民の方を対象にさつまいもの収穫体験と、さつまいもを活用したスイーツづくり等の体験イベントを実施</p>	黒川東地区観光農園、セレスモス	主催：麻生区役所 協力：地元農業者 セレスモス 対象：市内在住の女性	H27年 10月17日	
昔ながらの炭焼き体験や炭の今後の活用の可能性等をテーマとしたシンポジウムを、農家・大学・企業連携も見据えて実施	・明治大学黒川農場 ・黒川広町特別緑地保全地区	主催：企業、明治大学 協力：地元農業者 対象：地元農業者、地元住民等	H28年度	
<p>【地場産スイーツレシピづくりの実施】 地元フルーツの活用、店舗協力等の充実を図り、菜種油を活用したスイーツづくり（シユークリーム、チーズケーキ）及び販売を実施</p>	販売：黒川農場	主催：明治大学教員と学生、地元農業者、かえるプロジェクト（市民団体）、地元店舗 協力：麻生区役所	H27年 11月7日 (収穫祭)	
<p>【里山アート制作と展示】 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施 ・アーティストによる作品展示 ・小学生とのワークショップ型作品づくり</p>	黒川地域	主催：和光大学 制作：和光大学教員と学生、地元小学生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所	H27年 10月～ 11月	
<p>【里山アートをめぐる散策ツアー】 展示された里山アートをより楽しむための解説付き散策ツアーを実施。</p>	黒川地域	主催：和光大学、麻生区役所 協力：明治大学 対象：市民等 事務局：麻生区役所	H27年 11月7日 (収穫祭)	
黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小学生とともに、竹あんどんづくりを実施 将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定	・黒川広町特別緑地保全地区 ・農業用管理倉庫	主催：地元農業者、川崎市みどりの協働推進課 協力：明治大学 対象：地元小学生	H27年 11月7日 (収穫祭)	
里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討	黒川丸山特別緑地保全地区	主催：地元農業者、川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、明治大学 対象：地元住民	H28年 3月5日	
地1、地2と連携・協力	—	—	10月～ 11月	
地1 2と連携・協力	—	—	10月～ 11月	
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会 ・黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）の紹介 ・黒川農場ガイドツアー ・畑での体験収穫 ・農産物販売 ・昭和音楽大学卒業生によるミニコンサート 等 	明治大学 黒川農場	主催：明治大学黒川農場 協力：川崎市、黒川町内会、JAセリ川崎、かわさき地産地消推進協議会、東京ベレット（有）東京木質資源活用センター、（株）ルートレック・ネットワークス、三菱樹脂アグリドリーム（株）、Garden Restaurant AZUMA、昭和音楽大学、麻生区役所、明治大学農学部	H27年 11月7日	

6. 平成 27 年度取り組み事項

農産物等研究専門部会の取り組み事項 平成 27 年度版

- 農-1 明治大学黒川農場の見学会
- 農-2 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）
- 農-3 農産加工品に関する女性農業者との意見交換
- 農-4 黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）への
地元農業者の講師派遣
- 農-5 黒川野菜・果物等の P R（農家による黒川野菜の直売の実施）

農-1 明治大学黒川農場の見学会

農-2 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。
		目的 <p>【地域交流】明治大学黒川農場での取り組みを地域の方々があまり知らないため、地元農業者と大学関係者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	平成 28 年 2 月～ 3 月
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①明治大学黒川農場の施設紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
予算等		—
その他		—

農-3 農産加工品に関する女性農業者との意見交換

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の女性農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う <p>目的</p> <p>【黒川産商品開発】黒川地域の活性化に向けて目玉となる農産加工品の開発等が必要であるため、黒川産の農産加工品を開発し販売につなげる。</p> <p>【認知促進】既にある黒川産農産加工品のPRが必要であるため、黒川産農産加工品をPRし、多くの方に知っていただく。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：川崎市農地課</p> <p>対象：女性農業者</p> <p>協力：神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所、セレサモス</p>
実施内容	実施予定日	平成 28 年 2～3 月
	実施場所	黒川公会堂
	周知・PR	—
	内容	<p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見 <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農産物加工品の開発の可能性ややってみたいメニューについて意見交換 <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方等に関する意見交換
	予算等	黒川公会堂の会場費
その他		—

農-4 黒川農場アグリサイエンスアカデミー（市民講座）への 地元農業者の講師派遣

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒川農場アグリサイエンスアカデミーの有機農業講座・アドバンスドコースに、「ふるさとの生活技術指導士」の黒川地区の方に講師を依頼し、地域連携を図る <p>目的</p> <p>【人材の発掘と活用】黒川地域に優れた技術や知識を持った方が多くいるため、そういった人材の発掘と活用による地域の活性化 【地域交流】大学と黒川地域の方々や市民の交流を促進するため、大学の市民講座に地域の多様な人材を活かせること</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：明治大学黒川農場 講師：ふるさとの生活技術指導士（黒川地区） 対象：市民講座申込者</p>
実施内容	実施予定日	平成 27 年 12 月 19 日（土）
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・P R	明治大学市民講座による告知
	内容	<p>◆アグリサイエンスアカデミー有機農業講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒川地域における野菜の加工について
	予算等	－
その他		－

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 27 年 12 月 19 日（土）
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	
実施状況 (写真等)	<p>9：30～11：00 講義 11：30～13：00 実習</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①割り干し大根をもどす ②割り干し、切り干し大根の作り方講義 ③割り干し大根の煮物づくり ④ダイコン葉のふりかけづくり 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<p>①講師の声</p> <p>②大学、参加者の声</p>	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討 事項）		
その他		

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

計 画

概要・目的		概要 ・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。
		目的 【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。 【地域交流】農家と直接お話しをしながら、野菜を買いだめという意見が前回の収穫祭ですでにいたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。
実施体制、対象者等		主催：地元農業者、川崎市農地課 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者
実施内容	実施予定日	平成27年11月7日（土）
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	・ 明治大学収穫祭告知チラシ、HP等 ・ 協議会によるチャレンジウィークチラシ、HP等
	内容	収穫祭にて「農家さんの黒川さん農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売 ■ 販売された農産物 ・ 大根 ・ かぶ ・ 人参 ・ きゅうり ・ たまねぎ ・ 小松菜 ・ チンゲン菜 ・ 白菜のぬき菜 ・ 里芋 ・ 親芋 ・ ブロッコリー ・ 次郎柿 ・ 本ゆず ・ キウイフルーツ ・ たまご
	予算等	—
その他		—



メニュー表

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 27 年 11 月 7 日
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	収穫祭来場者数 約 1,150 名
実施状況 (写真等)		11:00 販売開始 15:30 販売終了
		
		販売場所
		
		販売テント
		
	購入者の列	
		
	商品	
		
	農家さんと市民（購入者）との交流	
		

<p>主催者や参加者の声 (主な意見、感想)</p>	<p>①地元農業者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭当日は車での来場を規制していたため、車での来場者が少ないせいか、大根などの大型の農産物等重い物を売るのが大変だった。 ・当初予定していたよりも完売するまで時間がかかってしまった。販売する人の拘束時間が長かったので、次年度はもっと販売時間を短くできるようにしたい。 ・収穫祭用に農産物の出荷を呼びかけたため、地域に収穫祭の認知度が増加した。今後も継続していくと、地元と農場との関係性がよくなると思う。 ・講習会なども開催できれば、多くの農業者が黒川農場の先生と接する機会が増えると思う。 <p>②購入者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な野菜がいろいろ買えてよかった。 ・白菜のぬき菜の育て方を教えてくださいました。 ・形の悪い野菜も販売してくれるとよかった。 ・他ではあまり見ない野菜があるといいなあと思った。 ・もっと現場から直接野菜持ってきた感があると面白いかもと思った。(リヤカーにするとか?) ・農家の皆さんが遠慮がちなので、もっと自慢してほしいと思った。 ・農家さんしか知らない美味しい野菜を販売してほしい。 ・めずらしい野菜の紹介と試食があると楽しいと思う。 <p>③明治大学黒川農場の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場の農産物にはない「たまご」などを販売してもらってよかった。 ・一緒に黒川産の農産物を販売し、PRでき、収穫祭を盛り上げてもらえてよかった。
<p>評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭当日の臨時駐車場について検討 (→黒川農場周辺の農道の活用や誘導員の確保など) ・収穫祭での販売場所の工夫やPR(構内での放送等)の強化 ・販売する農産物の種類と量の検討 など
<p>その他</p>	

農産物等研究専門部会の取り組み全般に対する意見

- ・協力してくる地元の方が増えたので、いろいろな取り組みへの理解が深まった。
- ・地元で昨年話題にも上がらなかった収穫祭が、今年は話題に出るようになったことが一番の収穫だと思う。
- ・取り組みを継続することで、地元と大学の接する機会を増やしていくことが望ましい。

〈参考1〉秋の集中的な取り組みについて

(1) 秋の集中的な取り組み（里地里山チャレンジウィーク）のPR

「農と環境を活かしたまちづくり」の一環として、協議会及び各専門部会が、地元の方や近隣大学、行政等と連携して、10/31～11/7にかけて集中的に取り組みを実施する期間を「里地里山チャレンジウィーク」と称して、関係者や地域の方々にPRしました。

市民や地元住民に、「農と環境を活かしたまちづくり」への理解を深めていただくとともに、各取り組みに対して参加や協力をお願いし、地元の方々と一緒にまちづくりを進めていくことを目的としています。

2015年
10/31 ±
～**11/7** ±
プレ 10/17 土

川崎市麻生区 黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり

里地里山チャレンジウィーク

～里地里山の恵みを体験・体感しよう！～

川崎市麻生区黒川地域の良好な里地里山環境（恵まれた農業資源や環境資源）の持続的な保全、利活用や地域活性化を目指して、地元の方、大学、行政等が連携して、10/31～11/7の期間に集中的に様々な取り組みを行います。（10/17より先行的に一部実施）
ご興味のある取り組みがございましたら、ぜひご参加ください。
皆さんのご参加をお待ちしています。

里地里山の利活用を楽しもう！

竹行燈づくり

実施日 11/7(土)
黒川地域の竹林から竹を切り出し、子どもたちが地元の方に教えていただきながら、竹行燈をつくります。

場所：農業倉庫前
集合：セレスモス棟の広場 9:00
対象：小学生（5～6年生）、中学生 参加費：無料
定員：20名 申込：お電話予約 申込締切：10/23(金)

秋の恵みを楽しもう！

さつまいも収穫体験とスイーツづくり

実施日 10/17(土)
さつまいもの収穫、スイーツデザートづくりのラッピング、黒川地域の旬の味覚を体験等のイベントを実施します。

場所：黒川東地区観光農園（さつまいもの収穫体験）
セレスモス（スポーツコート）0、ラビング施設、地元産材レストラン
集合：黒川駅北口 9:30 参加費：800円
対象：川崎市在住・在学・在勤の18歳以上の女性（定員16名）

里地里山の新たな魅力を楽しもう！

サトヤマアート サンポ
(里山アート制作 & 展示)

和光大学芸術学科の学生・卒業生・教員、地元農家、明治大学の学生、小学生等が連携しながら、里山アート作品を制作・展示します。作品は、黒川駅から明治大学黒川農場までの緑地や農地等に展示することで、黒川地域の顔とほだした魅力を生かし、新たな黒川のファンクを創出します。

竹のドームづくり（ドームの秘密基地）

実施日 10/31(土)
地元の小学生を対象に里山の魅力やアートにふれあってもらくワークショップを開催し、地元の竹を活用した竹ドームを制作します。

場所：農業倉庫前
集合：セレスモス棟の広場 13:00
対象：小学生（親子参加可） 参加費：無料
定員：40名 申込：必要（定員を超えた場合は、抽選）
申込締切：10/26(月)

里山アート作品の展示

実施日 10/31(土)～11/7(土)
地元の農家の皆さんにご協力いただき、黒川地域の里地里山に期間限定で里山アートを展示します。

展示予定作品（展示作品は変更する場合があります）
① Tide (タイト) = 時、風流と霞の風景、光のアート
② (風) 風わたる
③ 水の波紋 (広町緑地内で水の波紋を出現させる作品)
④ (風) 色にのって
⑤ ドームの秘密基地 (子どもたちのワークショップ作品)

その他、数点展示予定
展示場所：黒川駅～明治大学黒川農場間の緑地や農地等

黒川地域と一体となった明治大学黒川農場収穫祭を楽しもう！

明治大学黒川農場収穫祭 11/7(土) 11:00～16:00

収穫祭の主な催し

① 聞く
◎講演会
①「身近なリサイクル 生ごみ堆肥で作物栽培」
②「里山のおはなし」
◎黒川農場アグリサイエンス アカデミー（市民講座）の紹介

② 見る
◎黒川農場ガイドツアー
◎産学共同研究の紹介

③ 知る
◎畑での体験収穫（有料）

④ 食べる＆買う
◎黒川農場の収穫野菜の販売
◎「かわさきのハーブ」カフェ、ハーブの販売、ハーブクラフト作り体験（有料）
◎とん汁の無料配布
◎その他、飲食物や加工品の販売有り

⑤ 聴く
◎昭和音楽大学卒業生によるミニコンサート

農家さんの地元農産物の販売

地元農家さんが栽培した黒川産の野菜や果物の販売をします。
実際に農家の方とお話しておいしいものが楽しめます。

場所：明治大学黒川農場内

オリジナルスイーツの販売

明治大学、市民団体、地元店舗が連携して、黒川地域の野菜と地元で採れた果物を使ったスイーツをいろいろ開発し、収穫祭で販売します。

場所：明治大学黒川農場内

サトヤマアート サンポ マップの配布

配布 10/31(土)～11/7(土)
里山アートが楽しめる敷地マップを期間限定で無料で配布します。
配布場所：セレスモスなど

サトヤマアート サンポ ツアー

実施日 11/7(土)
展示した里山アートをガイドさんとともに鑑賞しながら、明治大学収穫祭会場を回るツアーです。
集合 黒川駅北口 参加費：無料
10:00 参加方法：当日先着順
対象：どなたでも（定員を超えた場合は、抽選）
定員：30名 お申し込み先が限られます。

主催者及び協力団体

主催：「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」
協力：黒川地域の農業従事者、明治大学黒川農場、和光大学、JAセレスモス、市民団体、神奈川県、川崎市、麻生区役所

お問い合わせ

体験Aに関するお申し込み等は、川崎市みどりの協働推進課 TEL：044-200-2365
体験Bに関するお申し込み等は、川崎市麻生区役所企画課 TEL：044-965-5112
本協議会に関するお問い合わせは、川崎市農業振興センター TEL：044-960-2461
収穫祭に関するお問い合わせは、明治大学黒川農場 TEL：044-980-5300

16

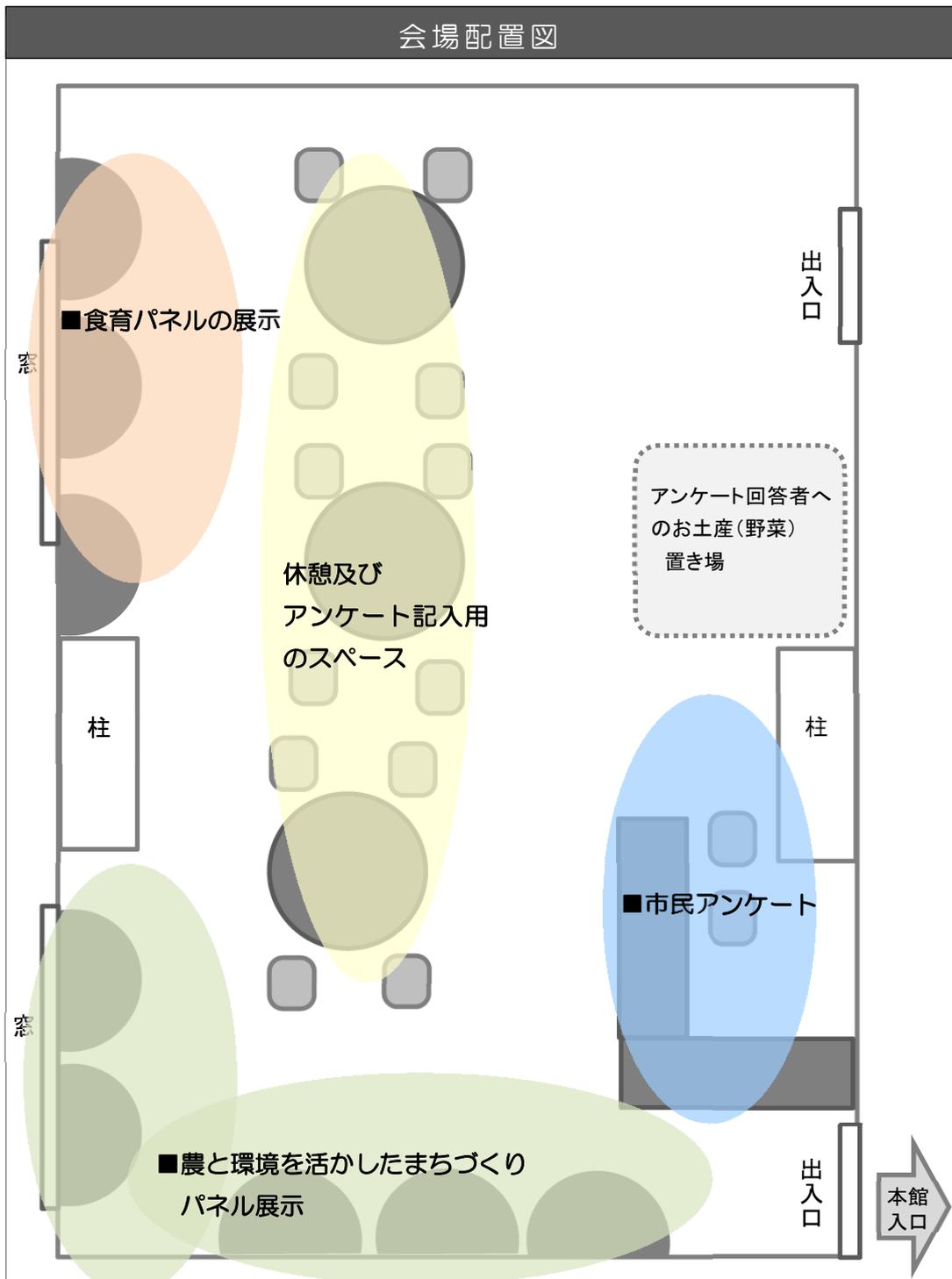
(2) パネル展示 (基本計画と平成 27 年度の取り組みの発表)

実施日：平成 27 年 11 月 7 日 (土)

実施会場：明治大学黒川農場 本館 1 階 会議室

来場者数：340 名 (アンケート回答者数：103 名)

実施内容：平成 26 年度の農と環境を活かしたまちづくりの基本計画と、平成 27 年度の取り組み事項の発表及び成果の報告として、パネル展示等を行った。また、明治大学の収穫祭に関する意見とともに、農と環境を活かしたまちづくりの今後の活動に向け市民の皆様へのニーズ等を把握するアンケート調査を実施。





会場入口



農と環境を活かしたまちづくりのパネル1



農と環境を活かしたまちづくりのパネル2



農と環境を活かしたまちづくりのパネル3



麻生区食育推進パネル1



麻生区食育推進パネル2



会場の様子1



会場の様子2

(3) アンケートの実施概要及び集計結果

実施日時：平成27年11月7日（土）

実施会場：明治大学黒川農場 本館1階 会議室

回答者数：103名

- 内 容：・黒川地域への来訪目的について
- ・明治大学黒川農場収穫祭について
 - ・平成27年度イベント「サトヤマ・アート・サンポ」について
 - ・回答者について

■個人属性に関する事項

①性別（F1）	20
②年齢（F2）	20
③居住地（F3）	21
④同伴者（F4）	22
⑤交通手段（F5）	22
⑥今後のイベントのご案内について（F5）	23

■黒川地域への来訪目的

⑦来訪目的（Q1）	23
-----------------	----

■明治大学収穫祭について

⑧収穫祭の認知方法（Q2）	24
⑨収穫祭への来訪回数（Q3）	25
⑩今年の収穫祭でよかったこと（Q4）	26
⑪今年の収穫祭の満足度（Q5）	27
⑫収穫祭での感想、今後やってほしいこと（Q6）	29

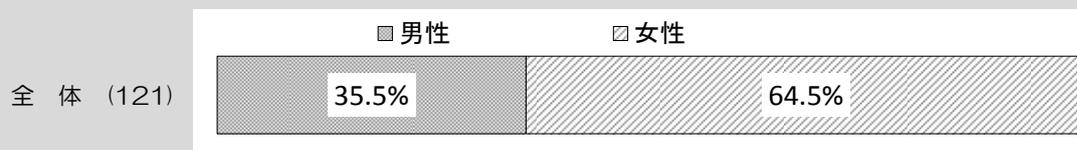
■平成27年度イベント「サトヤマアートサンポ」について

⑬収穫祭の取り組みで参加した、したい取り組み（Q7）	31
⑭サトヤマアートサンポの散策や認知方法（Q8）	32
⑮散策・鑑賞した日（Q9）	32
⑯気に入った作品、よかった作品（Q10）	33
⑰作品点数について（Q11）	34
⑱サトヤマ・アート・サンポの感想（Q12）	34
⑲サトヤマ・アート・サンポの感想や意見・要望（Q13）	34

アンケート結果

①性別 (F1)

- 男性が約 27%、女性が約 73%を占める。
- 昨年度に比べて、女性のアンケート回答者が増えた。



【参考：H26 年度のアンケート結果】

②年齢 (F2)

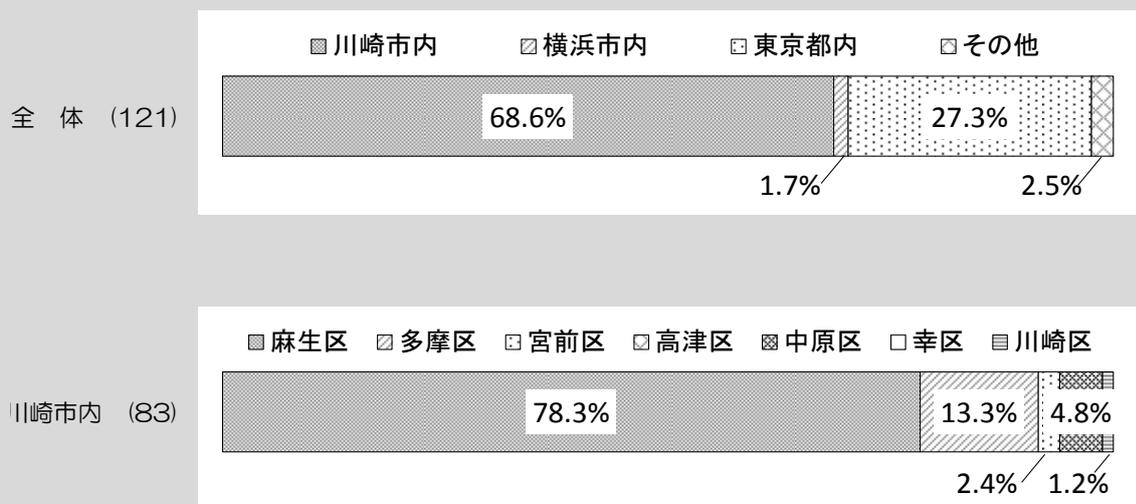
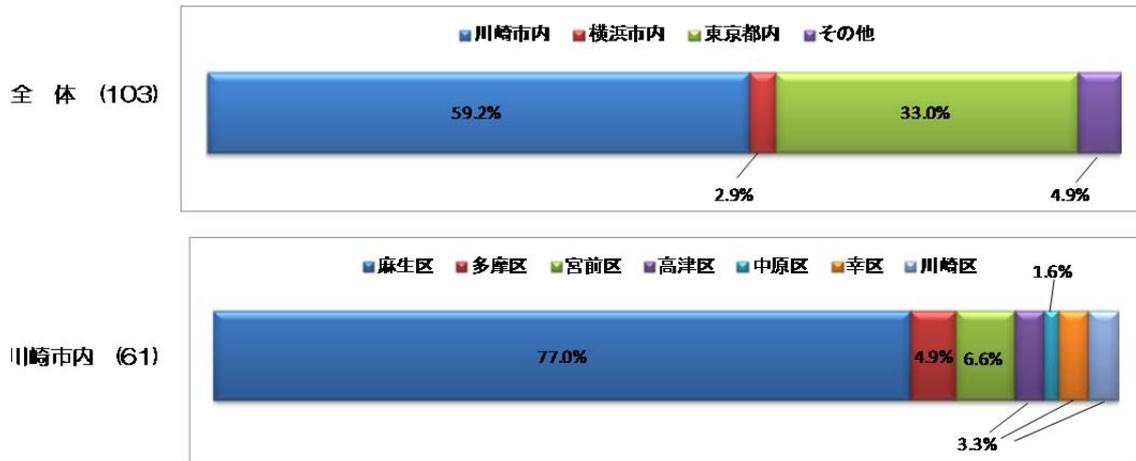
- 60歳以上が約 40%を占め最も多いが、39歳以下も約 30%を占め、比較的多世代の方が回答している。
- 昨年度に比べて、39歳以下や60歳以上の方が増えた。



【参考：H26 年度のアンケート結果】

③居住地 (F3)

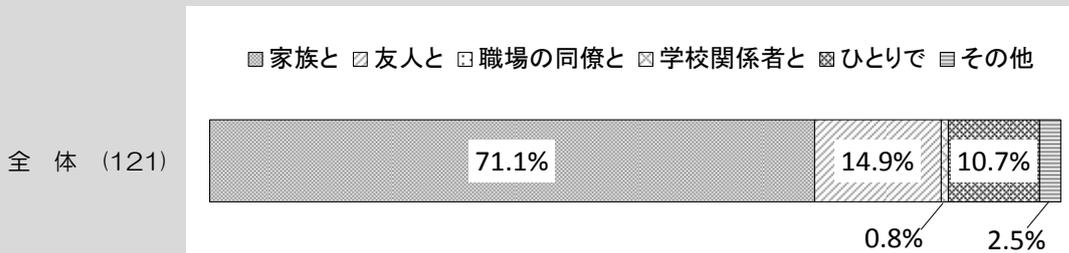
●川崎市内が約 59%と最も多いが、東京都内も約 33%となっており、地理的な条件から、隣接する市町村からの来場も比較的多く見られた。



【参考：H26 年度のアンケート結果】

④同伴者 (F4)

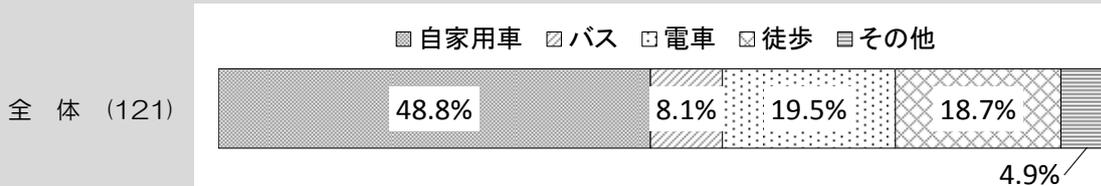
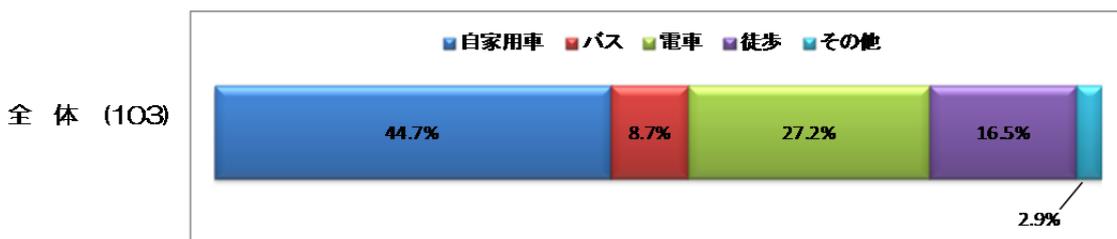
- 家族での来場が約64%を占め、そのほとんどを占めた。
- 昨年度に比べて「友人と」や「学校関係者と」来場する人が増えた。



【参考：H26年度のアンケート結果】

⑤交通手段 (F5)

- 鉄道駅から距離があるため、自家用車の利用が約45%を占めた。
- 昨年度に比べて、電車やバスなど公共交通機関を利用して来場する人が増えた。



【参考：H26年度のアンケート結果】

⑥今後のイベント等の開催案内(お知らせ)の配信 (F6)

●配信しても良いと回答した方が約21%を占めた。



⑦来訪目的 (Q1)

(シングルアンサー)

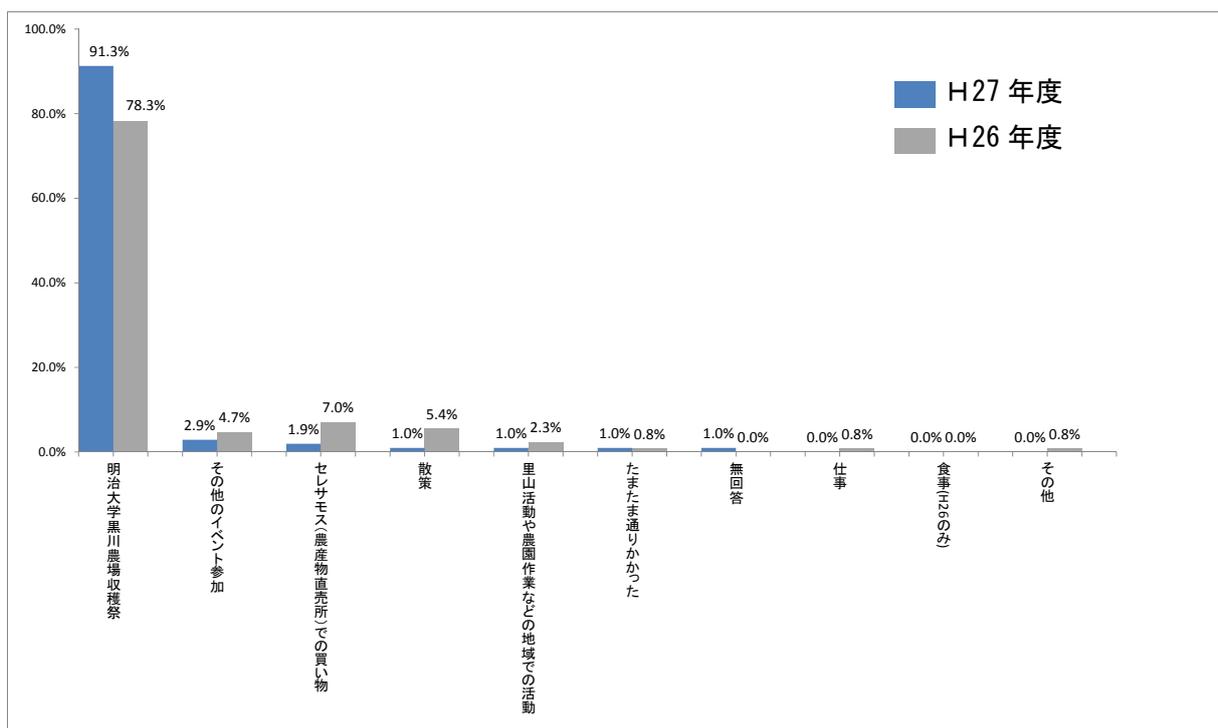
●明治大学の収穫祭でのアンケートということもあり、全体の約9割の方が、収穫祭を目的として来訪している。

【H27年度】

来訪目的	回答人数	割合
明治大学黒川農場収穫祭	94	91.3%
セレスモス（農産物直売所）での買い物	2	1.9%
散策	1	1.0%
その他のイベント参加	3	2.9%
里山活動や農園作業などの地域での活動	1	1.0%
仕事	0	0.0%
たまたま通りかかった	1	1.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.0%
回答数	103	100.0%

【参考：H26年度】

来訪目的	回答人数	割合
明治大学黒川農場収穫祭	101	83.5%
セレスモス（農産物直売所）での買い物	9	7.4%
散策	7	5.8%
その他のイベント参加	6	5.0%
里山活動や農園作業などの地域での活動	3	2.5%
仕事	1	0.8%
たまたま通りかかった	1	0.8%
その他	1	0.8%
食事	0	0.0%
回答数	129	
回答人数	121	



⑧収穫祭の認知方法（Q2）

（シングルアンサー）

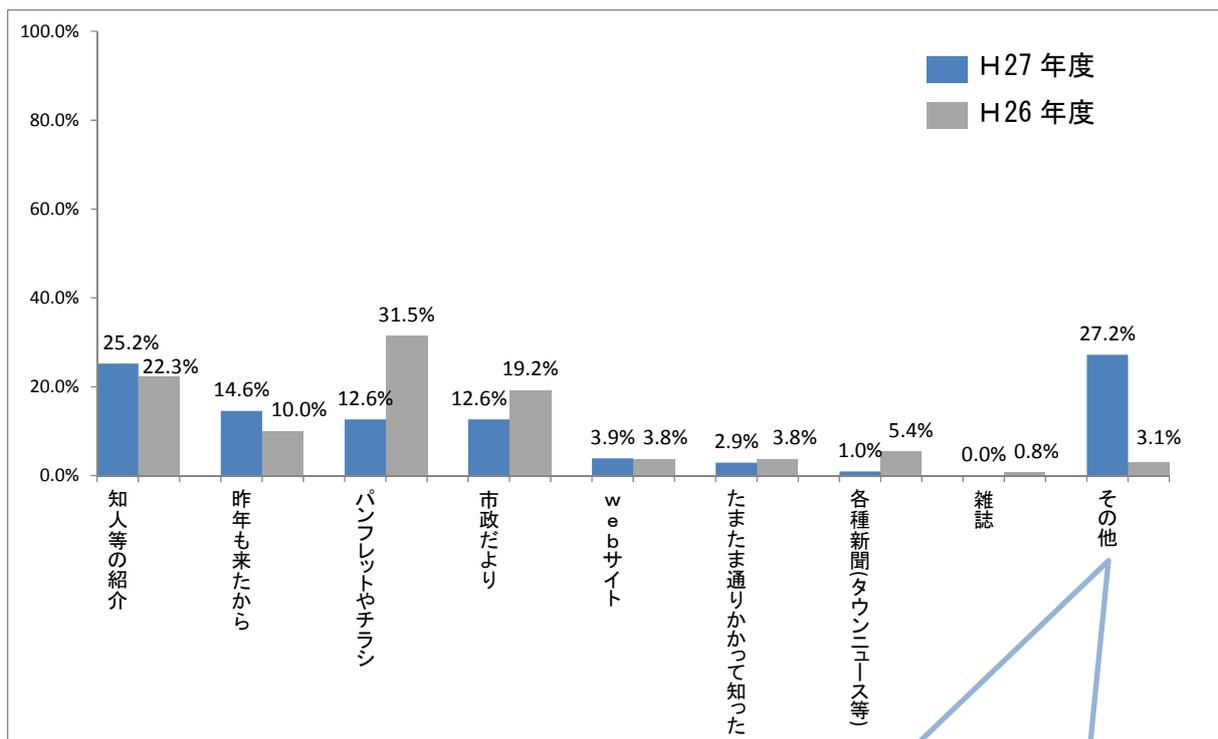
●昨年度多かった「パンフレットやチラシ」を見てきた方が減り、今年度は、「知人等の紹介」1番多かった。

【H27年度】

何で知りましたか	回答人数	割合
パンフレットやチラシ	13	12.6%
知人等の紹介	26	25.2%
市政だより	13	12.6%
昨年も来たから	15	14.6%
各種新聞(タウンニュース等)	1	1.0%
webサイト	4	3.9%
たまたま通りかかって知った	3	2.9%
その他	28	27.2%
回答数	103	100.0%

【参考：H26年度】

何で知りましたか	回答人数	割合
パンフレットやチラシ	41	33.9%
知人等の紹介	29	24.0%
市民便り	25	20.7%
昨年も来たから	13	10.7%
各種新聞	7	5.8%
テレビ・ラジオ・web	5	4.1%
たまたま通りかかって知った	5	4.1%
その他	4	3.3%
雑誌	1	0.8%
回答数	130	
回答人数	121	



【その他の回答理由】（H27年度）

- ・農場前やセレスモスに貼ってあるポスターを見た（7件）
 - ・明治大学の学生（ゼミ生）だから知っていた（5件）
 - ・子どもや孫が明治大学の学生だから知っていた（5件）
 - ・他のイベントで農場に来た時に知った（4件）
 - ・出店者のため（3件）
 - ・講座の案内（2件）
 - ・農場の入口で教えてもらった（2件）
- など

⑨収穫祭への来訪回数 (Q3)

(シングルアンサー)

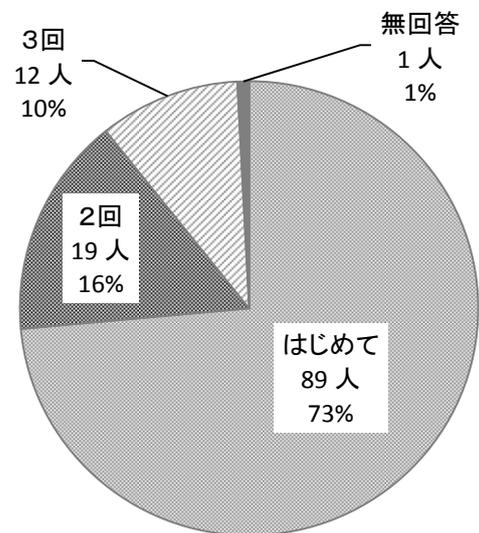
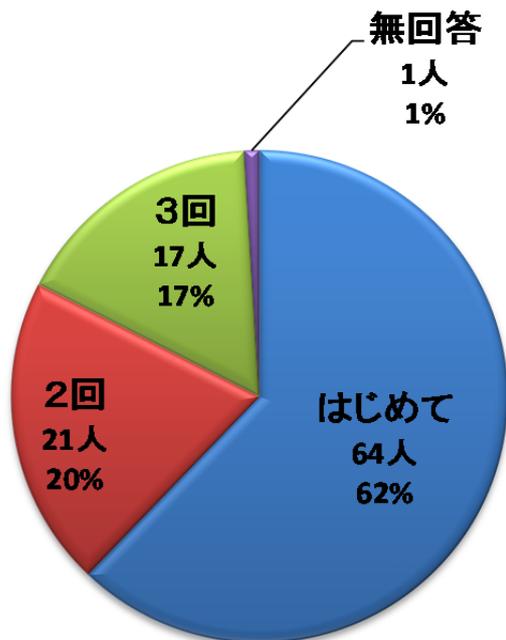
●初めての参加が6割を占め最も多いが、昨年度に比べて、「2回」や「3回」と回答された方が増え、少しずつリピーターが増えている。

【H27年度】

参加回数	回答人数	割合
はじめて	64	62.1%
2回	21	20.4%
3回	17	16.5%
無回答	1	1.0%
回答数	103	100.0%

【参考：H26年度】

参加回数	回答人数	割合
はじめて	89	73.6%
2回	19	15.7%
3回	12	9.9%
無回答	1	0.8%
回答数	121	

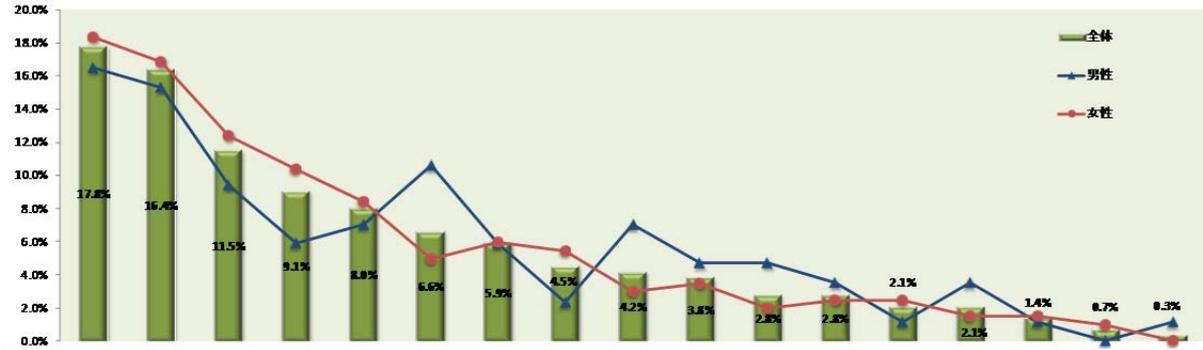


⑩今年の収穫祭でよかったこと (Q4)

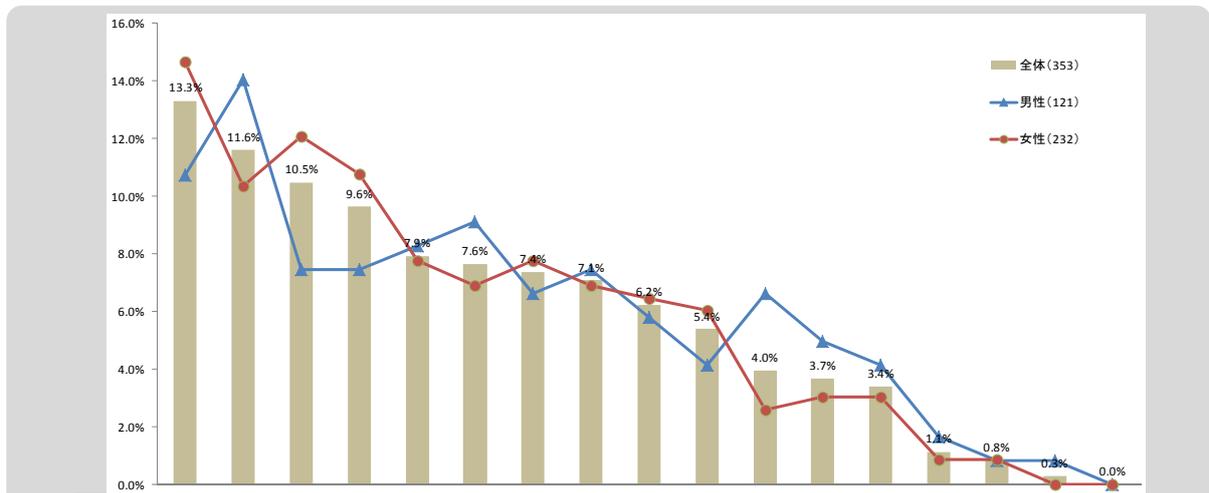
(マルチアンサー)

- 今年度は、「畑での収穫体験」がよかったと回答した人が増えた。
- 「身近なりサイクル生ごみ堆肥で作物栽培」や「養液栽培（水耕栽培）を楽しむ（市民講座）の紹介」がよかったと回答する男性が多く、男女で差が出た。

【H27年度】



項目	全体	男性	女性
畑での収穫体験	17.8%	16.5%	18.3%
学生による模擬店	16.4%	15.3%	16.8%
農産物（野菜など）と加工品の販売	11.5%	9.4%	12.4%
麻生区産菜種油と農産野菜を使ったスイーツの販売	9.1%	5.9%	10.4%
昭和音楽大学卒業生によるミニコンサート	8.0%	7.1%	8.4%
「身近なりサイクル生ごみ堆肥で作物栽培」	6.6%	10.6%	5.0%
ガイドツアー	5.9%	5.9%	5.9%
ふるさと生活技術習得士の会によるとん汁無料配布	4.5%	2.4%	5.4%
「養液栽培（水耕栽培）を楽しむ（市民講座）の紹介」	4.2%	7.1%	3.0%
際ポール堆肥の実験と販売	3.8%	4.7%	3.5%
「里山のおはなし」	2.8%	4.7%	2.0%
産学共同研究紹介	2.8%	3.5%	2.5%
麻生区食育についてのパネル展示と体験	2.1%	1.2%	2.5%
展示温室での収穫体験	2.1%	3.5%	1.5%
黒川地区連携協議会活動報告（パネル展示）	1.4%	1.2%	1.5%
「黒川農場アグリサイエンスアカデミー」（市民講座の）紹介」	0.7%	0.0%	1.0%
その他	0.3%	1.2%	0.0%



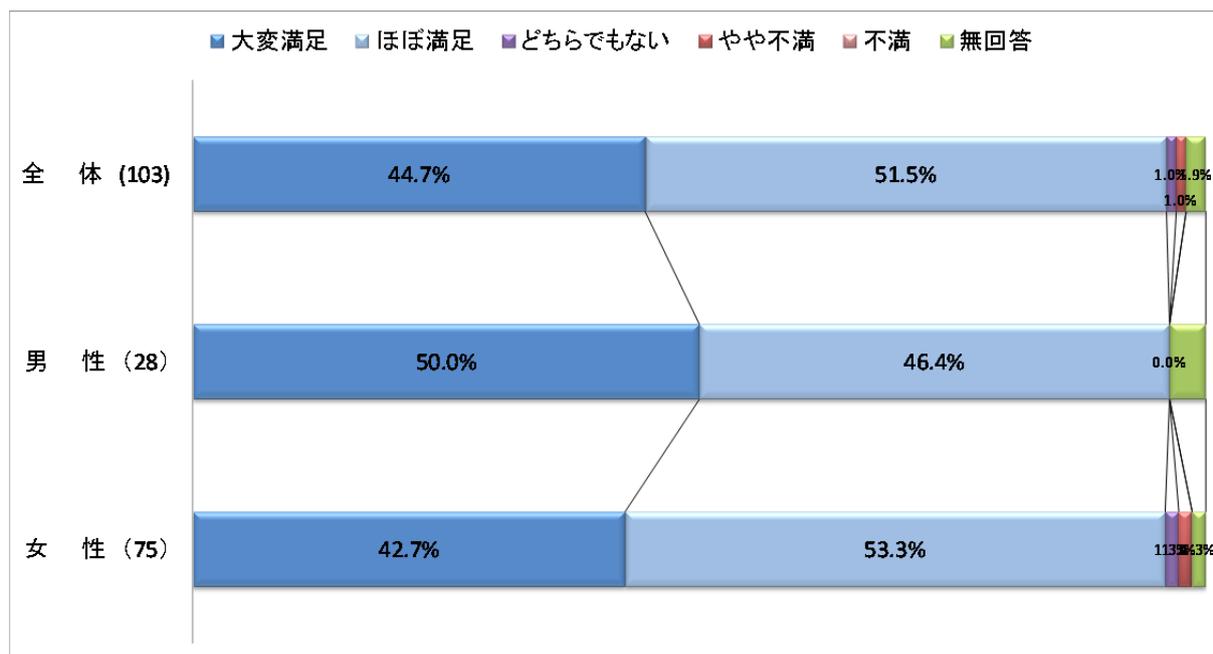
項目	全体 (353)	男性 (121)	女性 (232)
黒川野菜を使った豚汁の配布	13.3%	10.7%	14.7%
自然生態園ガイドツアー	11.6%	14.0%	10.3%
学生による模擬店	10.5%	7.4%	12.1%
農産物や加工品の展示即売会	9.6%	7.4%	10.8%
畑での収穫体験	7.9%	8.3%	7.8%
かわさきハーフカフェ、販売、ハーブクラフト作り体験	7.6%	9.1%	6.9%
昭和音楽大卒業生のミニコンサート	7.4%	6.6%	7.8%
生産研究エリアガイドツアー	7.1%	7.4%	6.9%
産学共同研究紹介	6.2%	5.8%	6.5%
スイーツ試食会	5.4%	4.1%	6.0%
麻生産菜種油と野菜を使用した	4.0%	6.6%	2.6%
農と環境のまちづくり活動の紹介	3.7%	5.0%	3.0%
800周年PR	3.4%	4.1%	3.0%
かきまるくんの禅寺丸柿の講演や講座等	1.1%	1.7%	0.9%
参加型黒川情報のマップづくり	0.8%	0.8%	0.9%
その他	0.3%	0.8%	0.0%
無回答	0.0%	0.8%	0.0%
特になし、よくわからない	0.0%	0.0%	0.0%

【参考：H26年度のアナケート結果】

⑪今年の収穫祭の満足度 (Q5)

(シングルアンサー)

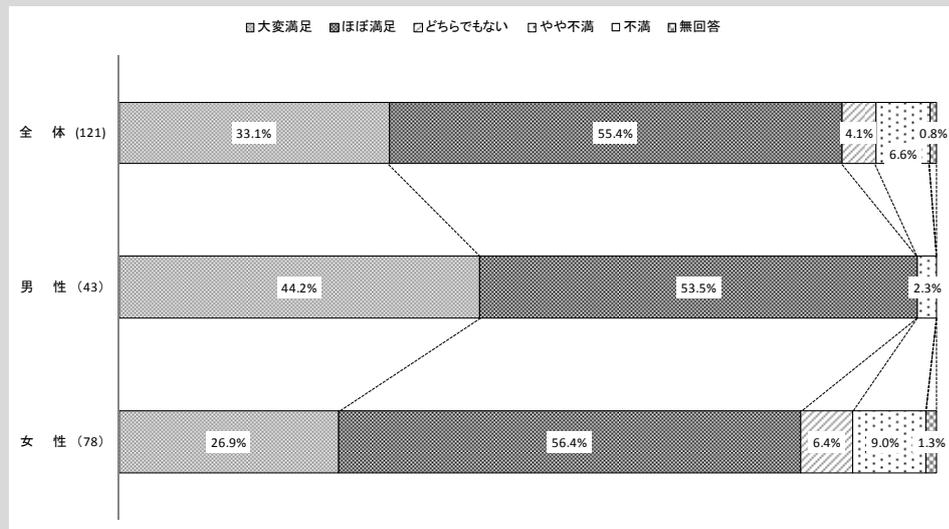
- 全体としては、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせると 9 割弱を占め、満足度の高いイベントであったことが伺える。
- 男女別に見た場合は、男性が「大変満足」と回答した方が 5 割を占め、満足度が高かったことが伺える。
- 全体的に、昨年度と比較すると、「大変満足」と回答した人が増加した。



	人数	大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
全体	103	44.7%	51.5%	1.0%	1.0%	0.0%	1.9%
男性	28	50.0%	46.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
39歳以下	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代以上	13	30.8%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
女性	75	42.7%	53.3%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%
39歳以下	25	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	12	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代	8	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
60歳代以上	30	30.0%	63.3%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%

※無回答は集計から除く。

※全体集計と比較して、10ポイント以上高い場合赤い塗り、低い場合は青い塗りとしている。



	大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
全体 (121)	33.1%	55.4%	4.1%	6.6%	0.0%	0.8%
男性 (43)	44.2%	53.5%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
39歳以下 (9)	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
40歳代 (7)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50歳代 (8)	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代以上 (19)	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性 (78)	26.9%	56.4%	6.4%	9.0%	0.0%	1.3%
39歳以下 (19)	21.1%	57.9%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%
40歳代 (23)	39.1%	47.8%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%
50歳代 (10)	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代以上 (26)	26.9%	53.8%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%

※無回答は集計から除く。

※全体集計と比較して、10ポイント以上高い場合赤い塗り、低い場合は青い塗りとしている。

【参考：H26年度のアンケート結果】

⑫収穫祭での感想、今後やってほしいこと (Q6)

(フリーアンサー)

収穫祭に来て良かったことや気になったこと、今後、収穫祭でやってほしいこと	
カテゴリー	具体的意見
農産物の販売 (13件)	おいしい新鮮な野菜を購入できる。学生が一生懸命説明してくれる。頑張ってください。
	新鮮な野菜や果物を買えてよかったです。(類似意見 他3件)
	新鮮で安心な作物が安価で購入できました。
	すぐ野菜が売り切れていて残念だった。
	めずらしい野菜の紹介と試食があれば楽しい。
	ミニトマトをさらに多く売ってほしいです。
	野菜が美味そうで、もっと量があるといいなあと思いました。
	間引き菜や赤くなったピーマンなど、美味しいのに農家しか知らない野菜を売ってほしい。わけあり野菜の販売とかあったら楽しいです。
初めて来てアートにも触れ、野菜も買えてよかったです。	
収穫体験 (10件)	普段できない収穫ができたり、畑に育っている野菜を見れてよかったです。
	畑の野菜収穫体験に参加し、大変楽しく過ごしました。(類似意見 他2件)
	畑での収穫体験を子どもと一緒にできてよかったです。(類似意見 他1件)
	野菜(特に白菜)が大きくてびっくりした。スタッフの方々が楽しそうにやっていたよかったです。
	立派な作物の収穫ができました。
	事前予約で車で来て、収穫できてよかったです。
収穫体験でのナスがあまりいいものが無かったので、無い方がいいと思います。他の収穫は、子供もとても楽しんでいました。	
ピザの販売 (4件)	手作りのピザ販売。ピザがおいしかった。(類似意見 他2件)
	ピザ店は混雑していました。
その他感想 (6件)	夏の体験にも参加し、今回伺いました。今日は家族で楽しめました。
	地域の人と学生がふれあえる。農にふれられる。
	初めて来ましたのでびっくり。見て廻るので精一杯でした。
	自然の中に触れて気持ちよかったです。
	水耕栽培の進化を実感しました。
大学で運営されていて信頼できる。先端の農業技術を知る機会があった。学生さん爽やかさが◎	
講習会・講座等 に対する要望	ミニ講習会。いろいろやっていただき、興味のあるのを選べたら良い。
	農業の将来、野菜工場等についての研究発表
	専門的に詳しく知りたい人だけの説明会
	野菜の作り方。肥料の作り方などの講座。
	生ごみリサイクル、生ごみと堆肥の実験を見たかった。
	干し柿づくり。大根を使い切る。干し野菜ジュース。
	果樹の剪定講座
新しい農業技術の紹介	
新しいプログラム に対する要望	応援団のパフォーマンス
	親子料理教室
	工作をやってほしい。
	去年は自然観察会がありましたが、今年はなかったので、来年は是非再開してほしいです。
	1坪レンタル畑があったらいいな～!
	花・ハーブの販売(種類を豊富に)
収穫するという事も考えてはどうか?	
昨年のおり紙	
スタッフや大学 に対する要望	午後がさみしいので盛りあがるようなこと
	お土産がもう少し色々(野菜以外で)あったらよかった。
	もう少し模擬店があるといい。花の苗も種類が少ない。
	行列への誘導の配慮
イベントの時間がわかりやすいとよかった。聞きたかったのに!!	
飲食の要望	飲み物の販売を増やして欲しい。
	もっといろいろ食べたいです。
	(食事)お昼になるようなものをもっと増やして下さい。毎年楽しみにしています。
バスの要望	シャトルバスを若葉台駅からも運行していただければと思います。
	若葉までのバス行がほしいです。

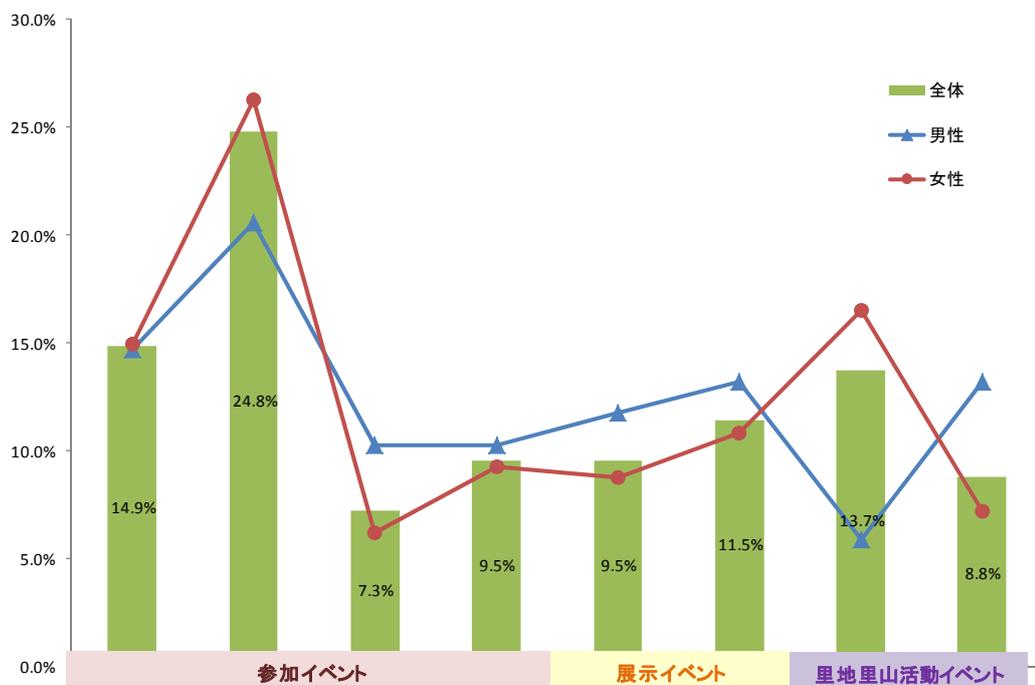
【参考：H26年度のアンケート結果】

収穫祭に来て良かったことや気になったこと、今後、収穫祭でやってほしいこと	
カテゴリー	具体的意見
収穫体験 (12件)	<p>野菜の収穫ができて楽しかった。(類似意見 他2件)</p> <p>さつまいもを掘りたかった。(類似意見 他2件)</p> <p>今度、収穫体験も参加してみたいです。(類似意見 他1件)</p> <p>収穫体験が終了してしまっていて残念。(類似意見 他1件)</p> <p>良い環境の中を歩きながら説明もしていただけて良かったです。次は収穫体験をしてみたいです。</p> <p>収穫体験はもっと多くの種類を気軽に参加できる金額でできたら嬉しいと感じた。メニューを増やして欲しい。</p>
野菜の販売 (12件)	<p>野菜等の販売量が少なかった。(類似意見 他5件)</p> <p>お野菜が買いたいと思っていただけ、値段も普通だし、種類も量も少なかった。これだったら帰りにセレスモスで買います。</p> <p>野菜売り場が狭いです。</p> <p>ハーブ販売など増やして欲しい。</p> <p>お花もあったらありがたい。</p> <p>野菜バーゲン。</p> <p>セレスモスに月数回通い、川崎の野菜を食べています。店内にて明治大学の取り組み(販売)があり、興味をもっていました。首都圏でのこういう収穫祭は感動です。</p>
大学施設、農場 (10件)	<p>パッションフルーツ等めずらしい果物を見ることができた。(類似意見 他2件)</p> <p>ヤマイモは見た事なく、食べ方を広く知らせて欲しい。</p> <p>うちでもバナナを育てたけれど枯れちゃって実際の緑色のバナナの実を見られて嬉しかったです。</p> <p>野菜づくりの参考になった。</p> <p>めずらしい野菜を知った事。</p> <p>自然と農業とIC農業を一度に見られることはすばらしいです。</p> <p>水耕栽培。</p> <p>大学でどんなことをやっているかが分かって良かった。</p> <p>景色がいい。</p>
イベント (8件)	<p>自然生態園ガイドツアーがとても楽しかった。</p> <p>ヤマイモなど珍しい野菜の簡単な実習、プレゼンなど調理教室。</p> <p>子供向けのイベント。</p> <p>みんなが手軽に参加できる体験もの(クラフト、料理)。</p> <p>農家さんによる技術体験、民芸品体験。</p> <p>素人でも農業を身近に感じられる企画があり、楽しかったです。</p> <p>ミニコンサートが見れたこと。</p> <p>どれも行列で待っている間に他の物が売り切れてしまい、もっといろいろ体験等やりたかった。</p>
模擬店 (8件)	<p>食事ができる店を出して欲しい。(類似意見 他2件)</p> <p>模擬店での食事の種類、量を増やすとよいと思います。(類似意見 他2件)</p> <p>まだあまりまわっていないのですが、模擬店の大学いもがとてもおいしかったです。</p> <p>模擬店の準備不足。</p>
試食会、配布 (7件)	<p>豚汁の無料配布が良かった。(類似意見 他1件)</p> <p>豚汁が大変おいしかったです。(類似意見 他1件)</p> <p>豚汁が品切れで残念でした。</p> <p>収穫物の試食会とか。</p> <p>新鮮野菜がもらえること。</p>
案内・マップ・サイン・ガイド (6件)	<p>来たばかりですが、全体MAPとか何処かで配布しているのでしょうか?</p> <p>案内マップなどあれば、初めての人にはありがたい。</p> <p>ガイドを多くして欲しい。</p> <p>もう少し広く案内をして欲しい。</p> <p>試食や体験の時間や受付がわかりにくかった。</p> <p>日経新聞に収穫祭のことが載っていたので初めて来ました。3回目とは知りませんでした。もう少しPRしていただけたら良いと思いました。</p>
学生 (3件)	<p>学生さん達の丁寧な対応に関心。</p> <p>若い方々が頑張っていて、頼もしく思いました。</p> <p>学生の作った作物の紹介があってもよいか。</p>
展示 (2件)	<p>もっと様々な生産物の紹介をして欲しい。</p> <p>どんな土で、どんな肥料で育てられているか分かったこと。本来持っているおいしさがよくわかりました。</p>
交通・駐車場	もっと駐車場を。
里山保全・環境	里山保全に注意して欲しい。
その他 (3件)	<p>地域の方が多数訪問していることに驚きました。</p> <p>良かったです。</p> <p>2日間開催して欲しいです。</p>

⑬今年度の取り組みで参加したい取り組み (Q7)

(複数回答)

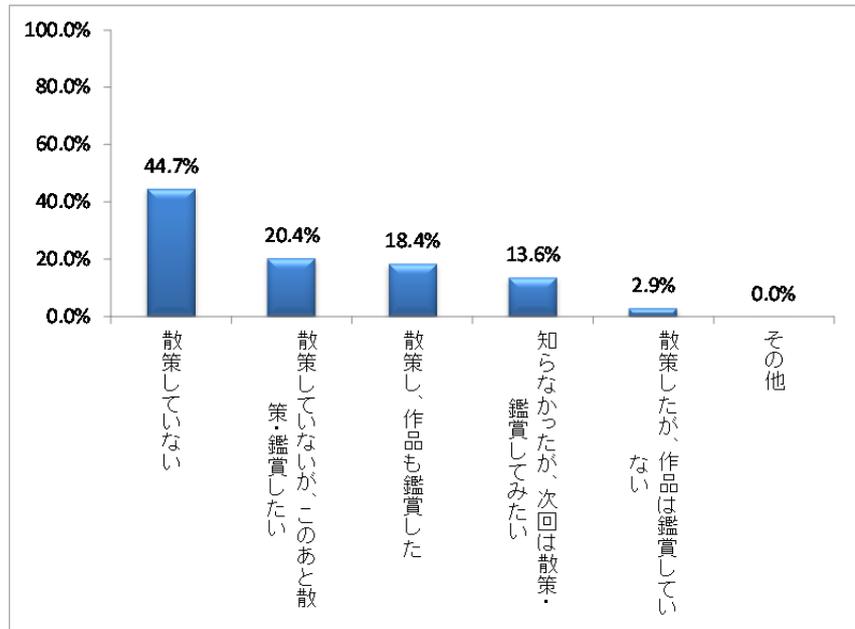
- 全体としては、「各種収穫体験」に参加したいと回答した方が24.8%でもっとも多かった。
- 男女別に見た場合は、「地域の材料を使った工作」と「里山保全活動」で男女の回答が大きく異なり、女性は工作に興味がある方が多く、男性は里山保全活動などの体を動かす取り組みに興味があることがわかる。



	菜の花プロジェクト	各種収穫体験	竹のドームづくり	サトヤマ・アート・サンボッツアー	サトヤマ・アート・サンボ	(仮)里山の景観づくり	地域の材料を使った工作	里山保全活動	
全体(回答数)	39	65	19	25	25	30	36	23	262
全体	14.9%	24.8%	7.3%	9.5%	9.5%	11.5%	13.7%	8.8%	100.0%
男性(回答数)	10	14	7	7	8	9	4	9	68
男性	14.7%	20.6%	10.3%	10.3%	11.8%	13.2%	5.9%	13.2%	100.0%
女性(回答数)	29	51	12	18	17	21	32	14	194
女性	14.9%	26.3%	6.2%	9.3%	8.8%	10.8%	16.5%	7.2%	100.0%

⑭サトヤマアートサンポの散策や認知方法(Q8)

●全体の4割強の方が散策していないと回答したが、一方で「鑑賞した」「このあと鑑賞したい」の回答も約4割を占めており、多様な楽しみのある収穫祭の中で、比較的多くの方に興味をもっていただいている結果となった。

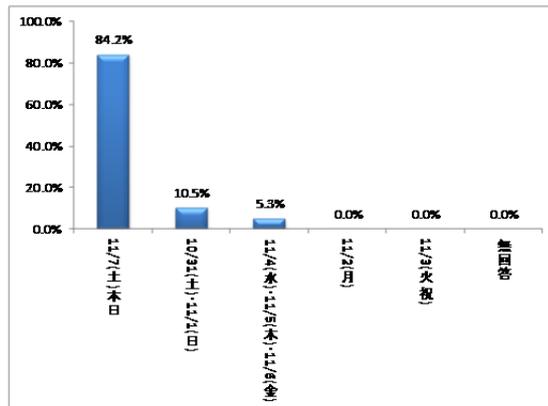


⑮散策・鑑賞した日(複数回答)(Q9)

●約8割強が収穫祭当日の散策・鑑賞となっている。

データ用

月日	回答人数	割合
10/31(土)・11/1(日)	2	10.5%
11/2(月)	0	0.0%
11/3(火・祝)	0	0.0%
11/4(水)・11/5(木)・11/6(金)	1	5.3%
11/7(土)本日	16	84.2%
無回答	0	0.0%
回答数	19	100%

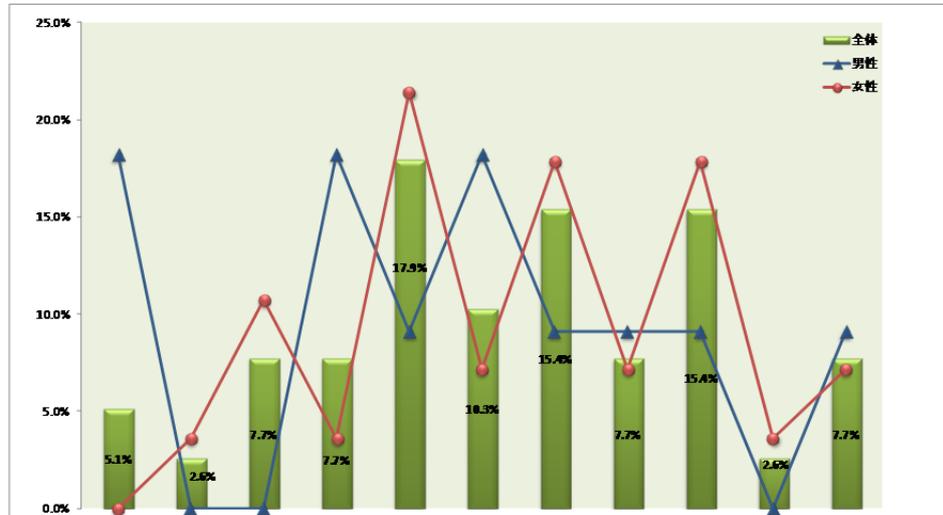


並べ替え用

月日	回答人数	割合
11/7(土)本日	16	84.2%
10/31(土)・11/1(日)	2	10.5%
11/4(水)・11/5(木)・11/6(金)	1	5.3%
11/2(月)	0	0.0%
11/3(火・祝)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答数	19	100%

⑩気に入った作品、よかった作品(5つまで)(Q11)

●男性と女性で好みがわかれているのが特徴的であった。



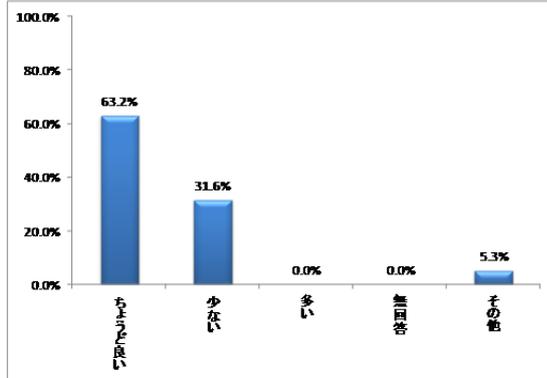
		のこされたもの	Tide	兼	波紋	音程	竹1000年築ハウス	ながれ	ドーム秘密基地	竹を使った案内看板	チラシ・ポスターデザイン	その他
全体	全体	5.1%	2.6%	7.7%	7.7%	17.9%	10.3%	15.4%	7.7%	15.4%	2.6%	7.7%
	(39)	2	1	3	3	7	4	6	3	6	1	3
男性	全体	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
	(11)	2	0	0	2	1	2	1	1	1	0	1
	39歳以下	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(4)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40歳代	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
(5)	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	
50歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳代以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
(5)	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1
女性	全体	0.0%	3.6%	10.7%	3.6%	21.4%	7.1%	17.9%	7.1%	17.9%	3.6%	7.1%
	(28)	0	1	3	1	6	2	5	2	5	1	2
	39歳以下	100.0%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	30.8%	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
	(13)	0	0	3	0	4	1	3	1	1	0	0
	40歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
(2)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
50歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳代以上	100.0%	0%	8%	0%	8%	15%	8%	8%	8%	23%	8%	15%
(13)	0	1	0	1	2	1	1	1	1	3	1	2

⑰作品点数(Q12)

●ちょうどよいという意見が約6割を占めたが、多いと感じた方は0件であった。

データ用

何で知りましたか	回答人数	割合
多い	0	0.0%
少ない	6	31.6%
ちょうど良い	12	63.2%
無回答	0	0.0%
その他	1	5.3%
回答数	19	100.0%



並べ替え用

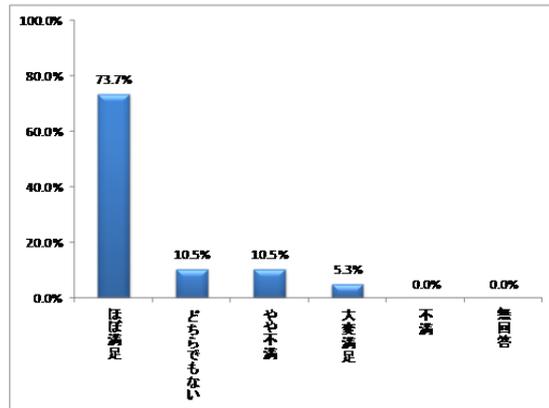
何で知りましたか	回答人数	割合
ちょうど良い	12	63.2%
少ない	6	31.6%
多い	0	0.0%
無回答	0	0.0%
その他	1	5.3%
回答数	19	100.0%

⑱サトヤマ・アート・サンポの感想(Q13-1)

●ほぼ満足という意見が約7割を占めた。

データ用

何で知りましたか	回答人数	割合
大変満足	1	5.3%
ほぼ満足	14	73.7%
どちらでもない	2	10.5%
やや不満	2	10.5%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答数	19	100.0%



並べ替え用

何で知りましたか	回答人数	割合
ほぼ満足	14	73.7%
どちらでもない	2	10.5%
やや不満	2	10.5%
大変満足	1	5.3%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答数	19	100.0%

⑲感想、意見、要望(Q13-2)

- 見るだけでなく、実際に体験やもっと近くで触れたらいいなと思いました。
- 初めて来たがアートにも触れ、野菜も買えて良かった
- もっと作品が大きい方がいい。
- 作品のインパクトが足りない。
- ガイドツアーの誘導が良かった。
- 自然との調和、土地の文化を理解した上でのアートと理解したが、自然では無い四角(粧)のこされたものは浮いているように感じた。一方、波紋は三角の土地の角地に配置された全体として三角の配置で、流れは竹林の中で光と影を利用し、とても美しかったと思う。
- あっと驚くのが少ない。
- 「流れ」の作品が光が差した竹林のなかで美しくとてもよかった。
- 「音径(おとみち)」の作品では、音を通して風の道を感じることができてよかった。

〈参考2〉 地域活性化検討専門部会の取り組み（中間報告）

実施方針	取り組み事項（実施項目）	主な体制	実施時期
①農と里山の認知促進	1)環境・景観の向上 ①サインの検討・試行 ②散策マップの検討・試行	・地元農業者 ・公学協働ネットワーク（和光大） ・麻生区	H27年 10月31日～ 11月7日
	③里山景観づくりの検討（菜の花等）	（未定）	H28年 3月～4月
	④環境整備の検討（散策路や遊べる水辺づくり）	（未定）	－
	2)取り組み紹介とイベントPR ・ホームページ、パネル展示、アンケート等	・麻生区	パネル：11月7日 HP：通年
②農と里山の体感	3)農業体験イベント ①グリーンツーリズム（収穫体験）	・地元農業者 ・明治大学黒川農場 ・J A ・川崎市 ・麻生区	H27年 夏：8月1日 秋：10月17日
	②炭焼き体験・シンポジウム	・地元農業者 ・明治大学黒川農場	H28年度
③地域資源の発見・創造	4)地域資源を活用した取り組み ①菜の花プロジェクト（スイーツレシピづくり）	・明治大学 ・市民団体 ・協力店舗 ・麻生区	H27年 11月7日
	②里地里山の新たな魅力づくり （里山アート制作・展示、散策ツアー）	・地元農業者 ・公学協働ネットワーク（和光大） ・J A ・明治大学 ・麻生区	H27年 10月31日～ 11月7日

グリーンツーリズム（収穫体験）

トマト・ブルーベリーの収穫体験

実施日：平成27年8月1日（土）
実施場所：ブルーベリー畑、明治大学黒川農場
参加者：19名

ブルーベリーの収穫



トマトの収穫



さつまいも収穫体験とスイーツづくり

実施日：平成27年10月17日（土）
実施場所：黒川東地区観光農園、セレスモス
参加者：8名

さつまいもの掘り取り



スイーツづくり



グリーンツーリズム（収穫体験）の感想

トマト・ブルーベリー

黒川地域の
景色に癒された

普段入れない大学での
施設見学や収穫体験が
できてよかった

ブルーベリーは
甘くて美味しかった

明治大学の先生のお話
がすごく楽しかった

とても楽しかった
また参加したい

収穫してその場で試食
できるのがよかった

8/1実施のアンケートより

さつまいも

収穫体験全てが
楽しかった

いろいろな人と交流
できてよかった

地産地消のものに
ふれることができて
よかった

普段体験できない経験
をすることができた

食育ソムリエの先生方
や越畑先生のお話が
おもしろかった

いつも電車から見ていた
里山の風景に直接ふれることが
できて貴重な体験になった

10/17実施のアンケートより

収穫祭連携イベント

菜の花プロジェクト (スイーツレシピづくり)

実施日：平成27年11月7日（土）

実施場所：明治大学黒川農場

実施内容：収穫祭で、菜種油と黒川産農産物を
活用したスイーツの販売



取り組み紹介とイベントPR (収穫祭でのパネル展示)

実施日：平成27年11月7日（土）

実施場所：明治大学黒川農場 本館 1階会議室

実施内容：黒川地域連携協議会の活動報告（パネル展示）
と市民アンケートを実施

来場者数：340名（アンケート回答者数：103名）



アンケートでは、「農と環境を活かしたまちづくり」
の取り組みや収穫祭の感想などについて質問し、今後の
活動に向けた市民ニーズを調査しました。

里地里山の新たな魅力づくり

里山アート制作・展示（サトヤマアート サンプオ）

里山アート制作・展示の取り組みを「サトヤマアート サンプオ」と称して、チラシ等を作成し、PRを行った。

展示期間：平成27年10月31日（土）～11月7日（土）
 展示場所：小田急線黒川駅から明治大学黒川農場までの区間
 作品制作：和光大学芸術学科の学生・卒業生、はるひ野小学校の児童



里地里山の新たな魅力づくり

里山アート散策ツアー

実施日時：平成27年11月7日（土）10：00～11：00
 実施場所：小田急線黒川駅から明治大学黒川農場までの区間
 参加者数：23名
 ガイド：和光大学芸術学科の学生・教職員
 内容：ガイドとともに里山アートをめぐりながら黒川農場の収穫祭を目指す散策ツアー



サイン・散策マップの試行

設置期間：平成27年10月31日（土）～11月7日（土）
 展示場所：小田急線黒川駅から明治大学黒川農場までの区間
 制作：和光大学芸術学科の学生・教職員



感想



(「サトヤマ アート サンポ」に関する意見・感想)

見るだけでなく、実際に体験できたり、
もっと近くで触れられたらいいなと思った

作品のインパクトが足りない

初めて来たがアートにも触れ、
野菜も買えて良かった

もっと作品が大きいほうがよい

ガイドツアーの誘導は良かった

「流れ」の作品がと
てもよかった

「音径（おとみち）」の作品では
風の道を感じる事ができた

「流れ」の作品は竹林の中で光と
影を利用し、とても美しかった

「波紋（はもん）」の作品は土地の角地
に三角に配置されていて美しかった

11/7実施のアンケートより

〈参考3〉里地里山保全利活用専門部会の取り組み（中間報告）

実施方針	取り組み事項（実施項目）	主な体制	実施時期
①里地里山の 体験・利活用	1) 里山の利活用 ・竹行燈づくり	・地元農業者 ・地元住民 ・明治大学 ・川崎市	H27年 11月7日
②里地里山の 保全管理	2) 里山の保全管理 ・里山保全活動（ササ刈り） 黒川丸山特別緑地保全地区	・地元農業者 ・地元住民 ・明治大学黒川農場 ・川崎市	H28年 3月5日
その他 (地域活性化検討 専門部会との連携 協力)	3) サイン設置や散策マップ作成への協力 4) 地域資源を活用した取り組みへの協力 ・地域資源を活用した里山アート製作と展示	—	—

1) 里山の利活用（竹行燈づくり）

① 指導者向けの事前講習会

実施日：平成27年10月13日（火）

実施場所：農業用管理倉庫 参加者：地元の方10名、三谷教授（専門部会長）、事務局3名

実施内容：11/7の本番に、子どもたちに指導できるように、事前に竹行燈づくりを覚える



農業用管理倉庫



作り方の説明



見本



底を平らに切る



裏側の穴あけ
(LEDライト用)



表側の穴あけ



穴あけの様子



試作品の完成

②竹行燈づくり 本番

地元の竹を使って だけ あん どん
～竹行燈をつくろう～

○本日の流れ

時間	内容
9:00～ 9:15	集合、開始のあいさつ、移動
9:15～10:00	竹の切出し、移動
10:00～11:30	竹行燈制作
11:30～11:45	鑑賞会
11:45～12:00	終了のあいさつ、収積祭へご案内

○作り方

No.	作業	道具	作業者	イメージ	No.	作業	道具	作業者	イメージ
1	竹を切り出す	チェーンのこぎり	指導者 参加者 代表		5	キャンドル設置用の穴をあける	自在さき	指導者	
2	切出した竹を運ぶ(緑地の入り口まで)	なし	参加者		6	あける穴の目印となる型紙を行燈に貼り付ける	セロテープ	参加者	
3	切出した竹を竹行燈1個分のサイズに切断する	チェーン	指導者		7	穴をあける	ドリル	参加者	
4	行燈の底と上をカットする	のこぎり	参加者		8	キャンドルを取り付ける	なし	参加者	

実施日：平成27年11月7日（土）
 実施場所：農業用管理倉庫・広町緑地
 実施内容：黒川地域の竹を使った竹行燈づくり
 参加者：子ども15名、保護者13名

広町緑地



竹の切り出し

竹の運び出し

農業用管理倉庫前



竹の底をカット

ドリルで穴あけ

農業用管理倉庫で鑑賞会



里山保全活動体験に向けての意向調査

調査日：平成27年11月7日（土）
 回答者：竹行燈づくりの保護者 12名

質問① 今後もこのようなイベントに
 子供を参加させたいか

参加させたい : 12名 (100%)

質問② 大人向けの里山保全活動の
 参加について

参加したい : 6名 (50.0%)
予定があれば参加したい : 5名 (41.6%)
参加したくない : 1名 (8.3%)

質問③ イベントのご案内の送付について

案内を送って良い : 12名 (100%)
 (上記のうち、メールでの案内を希望：1名)